

平成 24 年度全国公衆衛生関連学協会連絡協議会第 1 回総会 議事録

日時：平成 24 年 5 月 11 日(金) 17:00～

場所：日本学術会議

▶出席者 13 学会：（学会名五十音順カッコ内は出席者、敬称略）：日本栄養改善学会（酒井徹）、日本疫学会（秋葉澄伯理事長）、日本学校保健学会（宮尾克）、日本健康教育学会（衛藤隆理事長）、日本口腔衛生学会（神原正樹理事長）、日本公衆衛生学会（安村誠司理事）、日本国際保健医療学会（三好知明会計・庶務担当理事）、日本子ども健康学会（松寄くみ子）、日本産業衛生学会（大前和幸理事長）、日本小児科学会（五十嵐隆会長）、日本ストレス学会（角田透財務担当理事・渉外委員）日本感染症学会（岡部信彦常任理事）、日本民族衛生学会（渡辺知保幹事）

▶委任状 6 学会： 全日本鍼灸学会、日本衛生動物学会、日本行動医学会、日本小児歯科学会、日本母性衛生学会、日本ワクチン学会

▶欠席者 4 学会：日本衛生学会、日本健康相談活動学会、日本小児神経学会、日本地域看護学会

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会規約（以下、規約）では、第 8 条で、「総会は、正会員の過半数の出席により成立する。」とある。本総会が過半数の出席で成立していることが確認され、以下の議事が行われた。

1) 世話人（副代表等）、監事二人の正会員による互選：規約では、役員を選出に関し、第 6 条 4 項で、「世話人代表 1 名、世話人副代表 2 名は役員互選によって選出し、総会の承認を得る。」となっている。前回の総会で日本疫学会理事長 秋葉 日本疫学会理事長が世話人代表に選ばれたが、その他の役員は、代表世話人が推薦することとなった。本総会で、世話人代表が世話人副代表、監事二人を推薦することをあらためて総会に諮り、承認が得られた。総会は、世話人代表が推薦した以下の副代表と監事を承認した。

なお、規則第 6 条 2 項では、「指名世話人 若干名（正会員または個人会員）」を置くことになっているが、当面、指名世話人は置かないこととした。

副代表：

五十嵐 隆 先生（日本小児科学会）

安村 誠司 先生（日本公衆衛生学会）

監事

大前 和幸 先生（日本産業衛生学会）、

神原 正樹 先生（日本口腔衛生学会）

2) 総会をメール会議で実施することが諮られ、承認された。

3) HP 作成：世話人代表が本連絡協議会のホームページ原案を作成し、費用を見積もって、これを総会（メール会議）に諮ることが承認された。

4) 日本学術会議と日本公衆衛生学会の合同シンポジウムを全公連との共催とするように申し入れることが諮られ、承認された。なお、シンポジウムの題目、演題・演者について、以下のように紹介された。

日本学術会議と日本公衆衛生学会の合同シンポジウム（市民公開講座）

題目：福島原発事故による放射線被ばく一今後の対策と健康管理

座長：那須民江（中部大学生命健康科学部・日本学術会議会員）、秋葉澄伯（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学・日本学術会議連携会員）

演題：演者（所属）

① 放射性物質による環境汚染と被ばく経路：森口祐一（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻・日本学術会議特任連携会員）

② 福島県における県民健康管理調査の概要：安村誠司（福島県立医科大学公衆衛生学講座・日本学術会議連携会員）

③ 東京電力福島第一原子力発電所サイト内作業員の放射線防護と健康管理：樺田尚樹（国立保健医療科学院生活環境研究部）

④ 放射線の健康リスクに対する現状認識とその防護の考え方：甲斐倫明（大分県立看護科学大学看護学部人間科学講座）

5) 合同シンポジウムのシンポジストのなかで、日本公衆衛生学会会員でなく、かつ、日本学術会議の会員・連携会員でもない甲斐先生の旅費（5-10万円くらい）を本協議会から支出することの是非について諮られ、承認された。